

1 JANUARY	2 FEBRUARY	3 MARCH
01 SAT 元旦 ■冬季休業(1月10日まで)	01 TUE	01 TUE ■エントリーシート・履歴書書き方講習会・面接等個別指導強化週間(3月4日まで)
02 SUN	02 WED	02 WED
03 MON	03 THU	03 THU
04 TUE	04 FRI	04 FRI ■自己推薦試験 後期試験
05 WED	05 SAT	05 SAT ■自己推薦試験
06 THU	06 SUN	06 SUN
07 FRI ■一般試験 前期(兼特待生選考試験) 願書受付開始(1月25日まで) ※一般試験実施学部/工・芸・情・生・薬 ※特待生選考試験実施学部 /芸・パイロット・整備士を除く全学部 ■大学入試センター試験利用試験 前期 願書受付開始(2月1日まで) ※実施学部/パイロットを除く全学部	07 MON ■自己推薦試験 後期願書受付開始(2月25日まで) ※実施学部/工・情・生 (パイロット・整備士は除く) ■自己推薦試験 願書受付開始(2月25日まで) ※実施学部/芸	07 MON ■エントリーシート・履歴書書き方講習会・面接等個別指導強化週間(3月11日まで)
08 SAT	08 TUE ■後期定期試験(2月16日まで)	08 TUE
09 SUN	09 WED ■一般試験 前期合格発表 ■大学入試センター試験利用試験 前期合格発表	09 WED
10 MON 成人の日	10 THU	10 THU ■大学院修了式
11 TUE	11 FRI 建国記念の日	11 FRI ■自己推薦試験 後期合格発表 ■自己推薦試験 合格発表
12 WED	12 SAT	12 SAT
13 THU	13 SUN	13 SUN
14 FRI	14 MON ■一般試験 後期願書受付開始(3月10日まで) ※実施学部/工・芸・情・生・薬 ■大学入試センター試験利用試験 中期 願書受付開始(3月11日まで) ※実施学部/パイロット・薬を除く全学部 ■大学入試センター試験利用試験 後期 願書受付開始(3月11日まで) ※実施学部/薬	14 MON ■一般試験 後期試験
15 SAT	15 TUE	15 TUE ■卒業式
16 SUN	16 WED	■大学入試センター試験利用試験後期 願書受付開始(3月22日まで) ※実施学部/パイロット・薬を除く全学部
17 MON ■就職ガイダンス⑤(芸)	17 THU	16 WED
18 TUE ■就職ガイダンス⑤(工)	18 FRI	17 THU
19 WED ■就職ガイダンス⑤(情・生)	19 SAT	18 FRI
20 THU	20 SUN	19 SAT ■一般試験 後期合格発表 ■大学入試センター試験利用試験 中期合格発表 ■大学入試センター試験利用試験 後期合格発表 (薬のみ)
21 FRI	21 MON ■芸術学部卒業制作展(2月27日まで)	20 SUN
22 SAT	22 TUE	21 MON 春分の日
23 SUN	23 WED ■合同企業説明会	22 TUE
24 MON ■SPI・一般常識テスト⑥(芸)	24 THU ■合同企業説明会	23 WED
25 TUE ■SPI・一般常識テスト⑥(工)	25 FRI	24 THU
26 WED ■SPI・一般常識テスト⑥(情・生)	26 SAT	25 FRI
27 THU	27 SUN	26 SAT ■大学入試センター試験利用試験 後期合格発表 (薬除く)
28 FRI	28 MON	27 SUN
29 SAT		28 MON
30 SUN ■一般試験 前期試験1日目 ■一般試験 前期試験2日目 ※実施学部/パイロットを除く全学部		29 TUE
31 MON		30 WED
		31 THU

学生編集員
募集!!

広報誌「岳風」を広報課と一緒に作りませんか?
企画したい!取材したい!編集したい!
“イメージ”を形にしてみませんか。

広報課では広報誌「岳風」を一緒に作ってくれる、
そんな学生を募集しています。
なにかにチャレンジしたいと考えている学生さん
ぜひ、広報課(本館4階)を訪ねてください。
お待ちしております。(担当/松永)



崇城大学
SOJO UNIVERSITY

■工 学 部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程スカイエンジニアコース>
<専修課程航空整備士コース><専修課程パイロットコース>

■芸 術 学 部 美術学科/デザイン学科

■情 報 学 部 情報学科

■生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科

■薬 学 部 薬学科

■大学院工学研究科

<博士後期課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械システム工学専攻/
応用化学専攻/環境社会工学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
<修士課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械工学専攻/応用化学専攻/
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻

■大学院芸術研究科

<博士後期課程>芸術学専攻 <修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO

検索

<http://www.sojo-u.ac.jp/>

〒860-0082 熊本市池田4-22-1

TEL.096-326-3111(代表) FAX.096-326-3000

広報誌「がくふう」第58号 発行/2010年12月

崇城大学広報誌編集委員会・広報課(koho@ofc.sojo-u.ac.jp)

SOJO UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE



VOL.58
Winter
2010/2011

巻頭
特集

学食充実宣言



自己推薦試験	実施学部	■工学部 ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	2月7日[月]～2月25日[金]
	試験日	3月4日[金]
	合格発表	3月11日[金]

一般試験	実施学部	■全学部	※1 (兼特待生)
	願書受付期間	1月7日[金]～1月25日[火]	
	試験日	1月30日[日]・1月31日[月] (試験日選択型)	
	合格発表	2月9日[水]	
後期	実施学部	■全学部	
	願書受付期間	2月14日[月]～3月10日[木]	
	試験日	3月14日[月]	
	合格発表	3月19日[土]	

大学入試センター試験利用試験	実施学部	■全学部
	願書受付期間	1月7日[金]～2月1日[火]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	2月9日[水]
中期	実施学部	■全学部※2
	願書受付期間	2月14日[月]～3月11日[金]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	3月19日[土]
後期	実施学部	■全学部※2
	願書受付期間	3月15日[火]～3月22日[火]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	3月26日[土]

※1 一般試験前期は特待生選考を兼ねています(芸術学部を除く)
 ※2 薬学部は中期日程に後期日程として実施

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程>

一般試験	実施コース	■航空整備士コース、パイロットコース
	願書受付期間	1月7日[金]～1月25日[火]
	試験日	1月30日[日]・1月31日[月] (試験日選択型)※3
	合格発表	2月9日[水]
後期	実施コース	■航空整備士コース、パイロットコース
	願書受付期間	2月14日[月]～3月10日[木]
	試験日	3月14日[月]
	合格発表	3月19日[土]

※3 パイロットコースは1月30日のみ 一般試験前期日程を実施

大学入試センター試験利用試験	実施コース	■航空整備士コース
	願書受付期間	1月7日[金]～2月1日[火]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	2月9日[水]
中期	実施コース	■航空整備士コース
	願書受付期間	2月14日[月]～3月11日[金]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	3月19日[土]
後期	実施コース	■航空整備士コース
	願書受付期間	3月15日[火]～3月22日[火]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	3月26日[土]

佐賀県立宇宙科学館で開催中の
 「日本の航空100年記念 飛ぶ～空へ宇宙へ～」で、
 工学部 宇宙航空システム工学科の
 人カプロペラ飛行機ARSP-110を展示中。
 期間：2011年1月30日[日]まで



■表紙アートは、2010年3月に芸術学部美術学科・洋画コースを卒業した武田理香さん(熊本県・熊本農業高校出身)の作品「ピノキオの庭」です。

CONTENTS

02 SPECIAL REPORT 学食充実宣言

07 SERIES

8県人の発見

09 A LABORATORY REVIEW

工学部 ナノサイエンス学科 黒岩研究室
 芸術学部 美術学科 洋画コース 有田研究室

11 TOPICS

SILC HALLOWEEN FANCY DRESS PARTY
 第8回「全日本学生フォーミュラ大会」に出場
 マイクロ波BDF装置で熊本のエコ燃料推進
 「エコデザイン・プロジェクト」コンテスト表彰式と見学会
 情報学部生が「エコ電レース」に出場
 本学で「日本農芸化学会西日本支部大会」等を開催
 上岡教授が熊大エイズ研とPEL治療薬を開発
 県美展で修士課程2年・西村佳菜子さんが「県美大賞」を受賞
 薬学部 前田教授が「西日本文化賞」受賞
 パイロットコース生が「家用操縦士」ライセンスを取得
 火薬類取扱保安責任者試験(甲種) 国家資格試験に多数合格

13 THE HISTORY OF A PROFESSOR

薬学部 薬学科 徳富直史 教授

14 ALUMNI

日本テキサスインスツルメンツ株式会社 大森和史さん
 スカイネットアジア航空株式会社 岡元政隆さん

15 SOJO as it is

3名の学生が約1カ月間ドイツ・ハイデルベルク市で行われた「ISH」に参加

16 INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

17 THIS IS MY FAVORITE BOOK

心響の一篇

18 LOCAL AREA COOPERATION

地域連携

SOJO COLLEGE INFORMATION

崇城大学専門学校からのお知らせ

SPECIAL REPORT

学食充実宣言

よく学び、よく楽しむキャンパスライフには、

元気にしっかり食べることがとっても大切!! ということで、

崇城大学の「慶賓館(けいひんかん) 学生食堂」が、2010年9月にリニューアル・オープン。

応用生命科学与美術学科、2名の学生がナビゲーターとして、

さらに美味しく、より快適になった“学食”を紹介します。

熊本へ来春開通する九州新幹線
 “みずほ・さくら・つばめ”の姿が
 テラスから眺められます!!



独特の甘辛さがくせになる
 鶏玉チリ丼(400円)は
 人気もトップ!!
 ポクも友人も大好きです
 navigator
 Ryutaro Nishikata



意外とあっさりしてる
 このチキンンドリア(380円)が
 ワタシの大的お気に入り!!
 navigator
 Maki Takenaga



「熊本の新・人気スポット」 になってもおかしくないほどオシャレな カフェテリアになりました!!

「芸術学部棟に近い学食“モンマルト”派のワタシでしたが、こちらの学食がこんなにセンスよくリニューアルされ、ちょっと悔しい思いです(笑)。ランチだけでなく“カフェ使い”もできそうですね」と芸術学部・美術学科(洋画コース)3年次生の武永真季さん(熊本県・第二高校出身)。もう一人のナビゲーター、春から熊本大学の大学院に進むことが決まった生物生命学部・応用生命科学学科4年次生の西方龍太郎くん(鹿児島県・錦江湾高校出身)は、ひとり暮らしなだけに「栄養バランスが配慮されたヘルシーメニューもふえたよう。卒業するのが惜しいです」とコメント。崇城大は高台にあるから、1階でも窓からの見晴らしは素晴らしくて開放感もいっぱい。学生はもちろん“美味しさ・安さ・快適さ”の三拍子そろったカフェテリアとして、熊本市民の皆さんからも人気を集めそうです。

<慶賓館(けいひんかん) 学生食堂>

●席数/1階180席・2階180席

●時間/8:00~19:30(朝食メニューは10時まで)



九州新幹線“みずほ・さくら・つばめ”を見下ろし眺めるテラスでリゾート気分!!

春に全線開業する九州新幹線、その優美な姿を見下ろし眺めることができるスポットが2階のテラス。リゾートホテルのようなデッキチェアもあり、晴れた日は最上級のくつろぎが満喫できそう。階段を注意して自分で運べば、オープンエア・ランチが楽しめます(早く暖かくなってほしいな)。



焼き立てパンがうれしい ベーカリーストアを併設!

「キャンパスで焼き立てパンが食べられる!!」。オープンと同時にうわさになったのが、学食併設のベーカリーストア。写真①カレーパン(140円)や②とろとろチーズダッチ(140円)、③小倉あんぱん(100円)は焼き上がりと同時に品薄になるほど超人気。米粉生地ヘルシーパンも要チェックです。



④ビビットな赤のモダンチェアが印象的なカフェスペース。ベーカリーの焼き立てパンを味わうのにもグッドです。

⑤広さは以前と同じはずなのに、広くなったと感じてしまう1階のメインスペース。正午を過ぎると、ほぼ満席状態が続く雰囲気。「うまかあ!!」の歓声があちこちから……はちょっと言い過ぎ(笑)。食後も話が弾んで、授業に遅れないように気をつけよう。

⑥食券を自販機で購入、メニュー別のカウンターで受け取る方式は以前と同じ。でもカウンターが広くなり、受け渡しはよりスムーズになりました。

⑦“びかびか”にリニューアルされたオープンキッチンでは、調理スタッフが笑顔で出迎えてくれます。

⑧ランチを楽しむ生物生命学部の3年次生3人と千々岩先生(応用生命科学科)。「ちぢわぐみ」と自称する仲良しゼミだそうです。

⑨東の窓側にあるのは“おひとりさま”にうれしいカウンター。授業の合間の午後のひと時、ひとりで“ぼんやり”癒されてみたくなります。



グルメ派もボリューム派もエコノミー派も みんな大満足の人気メニュー “ザ・ベスト・テン”

2010年9月21日にリニューアル・オープン

集計データによる人気メニュー“ザ・ベスト・テン”第1位は誰もが大好きな「鶏玉チリ丼」。麺類から丼、定食まで、豊富に揃えられたメニューから選ばれた逸品の数々を紹介しましょう。

第1位

鶏の唐揚げを卵とじにし、チリソースをかけた逸品。

甘辛さがたまらない美味しさです。

鶏玉チリ丼 400円

第2位

オムハヤシカツ 450円

とろとろのオムレツとトンカツにハヤシソース。プチ贅沢感もたっぷり。

第3位

ピラフ&スパゲティ 390円

ピラフとスパゲティのセットメニュー。学食いちのボリュームで人気は抜群。

第4位

麻婆豆腐定食 450円

自家製の麻婆豆腐は辛味のバランスもばっちり。食がすすみます。

第5位

鉄板肉野菜炒め定食 390円

熱々の鉄板にたっぷりの野菜と炒めた豚肉。ヘルシーさもボリュームも満点。

第6位

豚肉の生姜焼き定食 420円

定番メニューも堂々の“ベスト・テン”入り。がっつり食べて元気になろう!!

第7位

塩豚キムチ丼 400円

塩だれ炒めの豚肉に白菜キムチと茹で卵がトッピングされ、満足感は予想以上。

第8位

てりマヨ丼 400円

照り焼きチキンにマヨネーズをたっぷり。野菜も多くて意外とヘルシー。

第9位

チキンドリア 380円

薬学部からも「シャトルバスに乗って食べに来る」と評判。カレー風味も利いてます。

第10位

桜コロッケ定食 420円

熊本名産の馬肉を使ったコロッケ。学食メニューとは思えない上品な味わい。

8:00~
10:00

しっかり食べて元気に学べる
朝食メニューが新登場!!

登場以来、ひとり暮らしの学生を中心に「うまい!! 安い!! 元気になれる!!」と人気の朝食メニュー。和食と洋食の2種類が用意されているのもうれしい限り。教授陣にも好評な学食の“朝ごはん”をしっかり食べて、今日も元気に勉強しよう。

morning set



モーニングセットA [和食] 250円



モーニングセットB [洋食] 250円

この他の“学食”も充実しています!!



モンマルト

もうひとつの学食、芸術学部・薬学部棟の横にある「モンマルト」は、一般の利用者も多いファミレス感覚。



麺食堂

本キャンパスにある麺類専門の学生食堂。



バーガーショップ

全天候型トラス式の中庭にあるバーガーショップ。

はっけんじんの はっけん

九州・沖縄 県人の発見

崇城大学生の約90%を占める九州・沖縄8県出身者。
そんな彼女ら彼らがこのキャンパスでの出会いや学びから、
どんな夢や目標、新しい自分や故郷への想いを見つけたのか。
8県8名の発見を紹介します。



series_07@01
熊本県人

工学部 機械工学科2年次生
古田 清依子さん
熊本県 九州学院高校出身

●「バイク大好き!!」。そんな私がバイクのメカニズムが知りたくて、進学先を選んだのは地元の崇城大・機械工学科。入学早々「学生フォーミュラ」のメンバーになり、活動を通じて身につけた技術を自分のバイクに活かしていたら以前より、さらにバイクが好きになりました。これからも、いろんなことに挑戦します。

バイクが好き!!

series_07@02
福岡県人

生物生命学部 応用生命科学科4年次生
角谷 尚美さん
福岡県 福岡中央高校出身

●高校時代から生物が大嫌いでした。なのに進んだ生物生命学部ではテスト前に友だちと一緒に睡眠返上で悪あがき。テストも最後まで悪あがき。それでも、この悪あがきが積もり積もってこの夏、高校時代に一度あきらめた長崎大薬学部の大学院進学という夢が叶いました。粘ったもん勝ちでしょ!!

粘ったもん勝ち

series_07@05
長崎県人

薬学部 薬学科3年次生
中村 真帆さん
長崎県 口加高校出身

●ひとり暮らし、バイト、サークル、友人との旅行、もちろん勉強。「今しかできないことを存分に楽しむ!!」をモットーにしました。再試験や追試も「さらに勉強するチャンス」と“超”ポジティブシンキング。充実した大学生活を満喫中です。

楽しまなければ
もったいない!!

series_07@06
鹿児島県人

工学部 建築学科4年次生
内田 隆夫くん
鹿児島県 鹿児島高校出身

●崇城大に入学するまで自分の長所は見つかりませんでした。でもサークルや研究室での“まちづくり”活動を懸命に取り組んだ結果、どんなに辛くても最後までやり遂げる忍耐力が自分の長所だと気づきました。そして第一志望の企業に内定することもでき、努力は結果につながることも確信できました。

努力が結果に
つながることを
確信しました

series_07@03
大分県人

工学部 ナノサイエンス学科2年次生
平山 貴啓くん
大分県 大分鶴崎高校出身

●大分から熊本へ、知らないまちでの一人暮らしに不安もいっぱいでした。でも大学で同じ夢をもつ多くの仲間と出会い、いつの間にか不安はなくなっていました。おかげで今日まで充実した大学生活が過ごせています。仲間たちに感謝!!

大学で出会った
仲間感謝!!

series_07@04
宮崎県人

情報学部 情報学科4年次生
斎藤 良太くん
宮崎県 高鍋高校出身

●遊んで学び、また遊んで学んだ3年間。そして迎えた就活本番。崇城大には就職説明会へのバス送迎や学内での採用試験があり、とても就活しやすい環境でした。おかげで東京での就職も決まりました。来春からは崇城大で学んだ知識を活かし、SEとして頑張ります!!

“みなさんのおかげ”
東京でSEとして
がんばります!!

series_07@07
佐賀県人

芸術学部 デザイン学科4年次生
梅田 和さん
佐賀県 佐賀清和高校出身

●大学進学を悩んだ高校時代。正直、大学まで行く必要はないと思っていました。それでも4年間という貴重な時間で得られた出会いと経験により私は“デザイナー”として生きていく覚悟ができました。大学は、未来の自分への大きなステップです。

未来の
自分への覚悟

series_07@08
沖縄県人

工学部
宇宙航空システム工学科4年次生
當間 健理さん
沖縄県 沖縄尚学高校出身

●幼い頃から飛行機が好き。それで選んだ崇城大の宇宙航空システム工学科。専門的に学ぶことで航空機の魅力を再発見し、多くの知識を得ました。また「沖縄県人会」サークルの活動を通じてコミュニケーション能力も高まり、今後も向上心をもって頑張ります。

人間力が
大きく成長した



KUROIWA Laboratory

ナノファイバーが電子材料となり得る機能の発現や配列制御などを探究

●パソコンや携帯電話などの電子部品がますます小さくなっていく昨今、分子をナノ（10億分の1）メートルスケールで思い通りに並べる手法の開発がますます要求されています。当研究室では、分子がひとりで並ぶファイバー構造「ナノファイバー」を形成する技術の開発を行っています。

●そのための部品（分子）として、脳の神経組織や細胞膜の構成分子をマネした有機化合物（両親媒性分子）と、電子・磁性・光学材料となりうる金属錯体を、レゴブロックのように組み立ててナノファイバー構造を形成しています（図1a.b）。

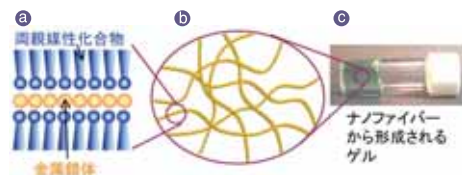


図1 両親媒性化合物と金属錯体から形成されるナノファイバー構造の模式図(a.b)とそのゲルの写真(c)

●驚くべきことに、分子構造をうまく設計すると、混ぜ合わせた分子たちはまるで生き物のように自分で並んでくれます（自己集合現象）。このナノファイバーは、溶液をゲル化できるほど非常に発達しており（図1c）、種々の電子顕微鏡でとらえられています（図2）。また、熱や光、電気などの刺激でファイバーが切れたり、再結合したりする現象を見出しています。最近では、このようなナノファイバー構造がマイクロチューブに自己成長する様子を観察することに成功しています（図3）。

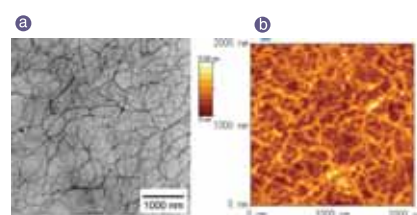


図2 透過型電子顕微鏡(a)と原子間力顕微鏡(b)でとらえた金属錯体ナノファイバー

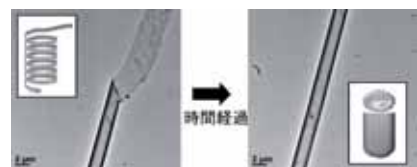


図3 自分自身で巻きあがるチューブ構造を捉えた透過型電子顕微鏡写真

●今後は、このようなナノファイバーが電子材料となり得る機能の発現や配列制御、生体によさしい材料開発の基盤技術となることを目指して、当研究室は物質群を探索し続けています。



2010年の主な活動

- 4月／本学に助教として着任（九州大学より）、科学技術振興機構（JST）の戦略的創造推進事業（CREST）に主たる分担研究グループとして参画する。英国王立化学会の学術誌「Chemical Communications」に論文掲載。
- 7月／日本化学会の学術誌「Chemistry of Letters」に論文掲載。
- 10月／高分子学会九州支部フォーラム「有機ナノ集積材料の創製～機能と構造」に招待講演。
- 11月／日本化学会西日本大会にて講演発表。九州地区高分子若手研究会・冬の講演会に招待講演。2011年3月には高分子学会機関誌「高分子」の連載特集「グローイングポリマー」に記事掲載予定。



工学部 ナノサイエンス学科
黒岩研究室
●指導教員／黒岩敬太 助教 博士（工学）
●専門分野／分子組織化学 錯体化学



ナノサイエンス学科4年次生
野口 康輔 くん
熊本県 湧心館高校出身

自身の研究テーマは？

●卒業研究として「アミノ酸を骨格とする両親媒性化合物と金属錯体によるナノファイバーの創成」に取り組んでいます。それはアミノ酸から合成した脂質化合物と金属錯体を複合化することによって、脳内組織の神経系に近い生体模倣材料を形成し、ナノファイバーをつくる研究です。

研究室の雰囲気は？

●とても賑やかです。みんなそれぞれ、自分の目標に向かって一生懸命、頑張っているため研究室はやる気に満ち溢れています。精神面や生活面も日々鍛えられています。

黒岩助教はどんな先生？

●とても優しく気軽に話しやすい先生です。教え方も理解やすく、また困った時は一緒に考えてくれるのかが考えてくれます。また先生は豊富な化学の知識を駆使して、研究しやすいように促してくれます。おかげで充実した研究生活を送っています。



平面絵画の物語性追究をテーマに フレスコ画で自身の物語世界を壁に塗り込める



ARITA Laboratory

●当研究室のテーマは「物語絵画」、すなわち平面絵画の物語性の追究です。普通の写生やモチーフの再現描写ではなく、個人的な想いやイメージを主に具象表現によって制作しています。

●主な描画技法はフレスコ画です。フレスコ画は13世紀中頃、イタリアで完成された古い技法です。砂と石灰を混ぜた壁に描きます。当然、壁が乾いてしまえば描けなくなるので、その日に制作できる面積だけの壁を塗り、顔料（粉の状態の絵具）を水で溶いて描きます。夕刻、壁が乾いてくると仕事は終わります。そしてまた次の日、昨日に描いた隣に壁を塗り、描いていきます。そのためイタリアの教会の壁や天井の大きなフレスコ画は、何カ月も、いや何年も費やして描かれたものが少なくありません。

●洋画コースは基礎的な「ものを見て描くこと」を大切にしています。セザンヌ、ピカソ、モランディがそうであったように、単に再現描写するだけでなく“自分が見えるように描く”という、最も困難な道を歩んでいます。

●表現と材料は1枚の紙と同じで、表裏どちらが欠けても成立しません。いろんな画材を使いこなし、表現という大きな山に登って頂上に立ち、そこから見える風景を学生にはぜひ、見てほしいと思います。そしてまた次の大きな山に向かって描き続けてほしいと思います。

この1年の主な活動

- 甲府にある幼稚園の玄関ロビーに変形500号のフレスコ画「Immanuel」を制作
- 日本橋三越「両洋の眼」第20回記念展に出品
- 米子市美術館「交響するところの美」に出品
- 新宿と大阪の高島屋「風と光の記憶」に出品
- 国立新美術館・第86回「白昼展」に500号のフレスコ画「Noah」を出品
- 東京美術倶楽部・第10回「21世紀展」に出品
- 鳥取県立博物館「展覧会であるアート・カルタ展」に出品
- くまもと阪神で水彩画個展「熊本日々」を開催
- 大阪・梅田画廊で個展を開催

芸術学部 美術学科 洋画コース
有田研究室
●指導教員／有田 巧 教授
●専門分野／平面絵画（主にフレスコ画）



芸術学部 美術学科 洋画コース4年次生
中村 春香 さん
福岡県 東筑紫学園高校出身

自身の研究テーマは？

●個人的な思想からストーリーを考え、それにふさわしいモチーフを選び、それを画面上に配置し、漫画のようなコミカルな画面構成をすることです。

研究室の雰囲気は？

●みんなマイペースに過しています。一人で黙々とキャンバスと向き合っている時もあれば、友だち同士でお喋りしている時もあります。

有田教授はどんな先生？

●研究室にひっそりあらわれ、的確なアドバイスを言ってくれる先生です。ご自身の作品と同様、少年の心を残されている先生だと感じます。



SILC HALLOWEEN FANCY DRESS PARTY

SILC

10月29日、英語学習施設SILCにて「ハロウィン仮装パーティー」が開催された。初開催のイベントながら多くの学生が参加。会場はハロウィンならではの扮装からアニメキャラクターまで、さまざまな仮装で賑わった。また参加者はそれぞれの仮装コンセプトを英語でスピーチするなど、楽しく英語を学ぶ機会となった。「SILC」では今後も英語にふれあうイベントを開催する予定。

*Sojo International Learning Center



第8回「全日本学生フォーミュラ大会」に出場

機械工学科

9月7日から11日までの5日間、静岡県小笠山総合運動公園で開催された第8回「全日本学生フォーミュラ大会」に崇城大学のチーム「Sojo Project F」が出場した。メンバーの学生たちは昨年の第7回大会での書類審査不合格という無念を晴らすべく、この1年間は土曜日、春休み、夏休みも返上、チーム一丸となって車両の設計・製作に励んできた。大会では騒音審査（車検項目のひとつ）を通過するのに想定以上の時間を費やし、車両の運動性能を競う競技に出走できなかったという結果に終わったが、各人この活動を通して人間的に大きく成長したと思われる。今年度の結果をふまえ、新リーダーのもと既に次年度の第9回大会に向けて活動をスタートしている。



誰でも手軽にできるマイクロ波BDF装置で 熊本のエコ燃料推進

ナノサイエンス学科

工学部ナノサイエンス学科池永研究室ではマイクロ波（電子レンジ）を用いて廃食油からディーゼル燃料（Bio Diesel Fuel：BDF）を製造する研究を行っている。BDFは大気中のCO₂によって作られた植物油が原料で、炭素源が循環するカーボンニュートラルな燃料として注目を集めている。現在の方法には①製造に時間がかかること②排水が多量に出ること③装置が高価であることなど多くの欠点があった。しかし、開発したマイクロ波低温製造装置でそれらの問題をすべて解決することができた。研究の学生とさらなる改良を続けている。また、製造したBDFは井芹祭においてゴーカートの走行燃料に使用した。



「エコデザイン・プロジェクト」コンテスト部門 表彰式と見学会

エコデザイン学科

8月22日、芸術学部前ビオトープ池で「エコデザイン・プロジェクト」コンテスト部門の表彰式を行った。「エコデザイン・プロジェクト」はエコキャンパスをめざす崇城大学の取組みに呼応したもので、県内の中高生からアイデアを募集し、ビオトープ池を造成している。受賞アイデアではビオトープ全体についてよく調べてあるもの、周辺地域への聞き込みが行われていたもの、生物の生息場所について詳しく言及されていたもの、それぞれ質の高いものがあつた。

受賞者	
最優秀賞	沖縄県 宮古高校 生物クラブ 熊本県 真和高校 生物部
優秀賞	福岡県 京都高校 生物研究会
入賞	熊本県 洛々髙校2年生 坂口功峻くん



表彰式後に完成したビオトープ池を見学しながら生息し始めた生物を観察する高校生たち

情報学部生が「エコ電レース」に出場

情報学科

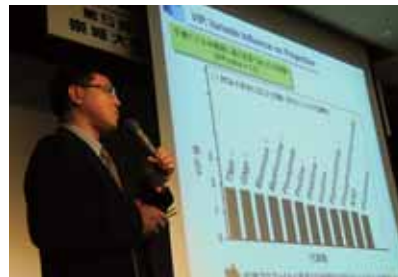
10月10日、熊本市・田崎三陽自動車学校にて本学の中山学長が大会委員長を務める第8回「EVフェスティバル九州 in くまもと」が開催された。そのイベントのひとつである「エコ電レース」に情報学部の学生2チームがエントリーした。このレースは同一条件のバッテリーに蓄えられたエネルギーを最大限に活用、手づくりの電気自動車で1時間内に移動する距離を競うもの。学生たちは毎日、遅くまで情報学部の坂本浩教授と坂井栄治准教授の指導を受けながら車両製作に励んだ。結果は一般モータークラス出場20台中、8位と12位だったが、学生たちは「ものづくり」の楽しさと苦労の双方を学ぶことができ、貴重な体験になった。



本学で「日本農芸化学会西日本支部大会」等を開催

応用微生物工学科

9月17日18日、本学で平成22年度「日本農芸化学会西日本支部大会・シンポジウム」および第5回「崇城大学応用微生物研究所セミナー」が開催された。九州沖縄から約220名（学生は約110名）の参加者があり、104題の一般講演のうち約20題が本学の教員・学生による発表であった。初日の懇親会も100名以上の出席があり盛会だった。



上岡教授が熊大エイズ研と共同で エイズ患者リンパ腫治療薬を開発

応用生命科学科

生物生命学部・応用生命科学科の上岡龍一教授が、熊本大学エイズ学研究中心と共同で、エイズ患者に多発する原発性体腔内性リンパ腫（PEL）に効果のある“ハイブリッドリポソーム”を開発した。ハイブリッドリポソームは、これまで複数種のがんに対して、がん細胞だけにアポトーシスを引き起こすことが証明され、副作用のないがん治療薬として臨床応用が進んでいる。PELは有効な治療法がなく、このハイブリッドリポソームの臨床応用が大いに期待されている。



県美展で修士課程2年・ 西村佳菜子さんが「県美大賞」を受賞

美術学科

第65回「県美展」が9月7日から12日まで熊本県立美術館の本館と分館で開催された。絵画や彫刻など491点が展示され、本学からは大学院修士課程美術専攻2年次生の西村佳菜子さん（佐賀県・佐賀大学出身）が「錆」で県美大賞を受賞した。「くつろいだポーズの中に具象表現の深さがあり、見る人を惹きつける点」が評価され受賞に至った。その他、本学芸術学部在学・卒業生から多数の受賞・入選者が出ており、活躍ぶりを示す結果となった。



薬学部 前田浩教授が「西日本文化賞」受賞

薬学科

去る11月3日の文化の日、西日本新聞社（本社福岡市）が贈る「西日本文化賞」の授賞式に薬学部の前田浩教授が出席した。西日本文化賞は、学術文化、社会文化の両部門で輝かしい業績を挙げ、地域の文化向上、発展に貢献した個人・団体を顕彰するために贈られる賞である。前田教授は1986年に高分子の薬剤が選択的にがん局所に集まる「EPR効果」を発見し、この理論は最近の制癌剤開発の世界的な基礎理論となっている。このEPR効果は世界中で多くの論文に引用され、その数は今年で8,000件にもなる。また、同教授の研究成果のうち、インフルエンザなどの各種感染症において発生する活性酸素が病気の原因分子であることの発見や、活性酸素除去による「がん予防」の実験的、理論的、実践的研究に関する顕彰された。



パイロットコース生が 「自家用操縦士」ライセンスを取得

宇宙航空システム工学科

工学部・宇宙航空システム工学科パイロットコース1期生（3年次生）全員が、国交省の試験官による実地試験（口述および操縦試験）に合格し「自家用操縦士」免許を取得した。2年次に夏休みを返上、ソロフライト訓練（1人で操縦桿を握り離陸し空港近くを周回・着陸）、国交省の航空関連5科目の自家用学科試験合格、ソロナビゲーション（単独で熊本空港を離陸し佐賀空港など他の空港に着陸して熊本空港へ戻り着陸する）など種々の空中操作の訓練を経た結果である。

平成22年度「火薬類取扱保安責任者試験（甲種）」 国家資格試験に多数合格

資格取得

上記の国家資格試験が8月22日に行われた。本学衝撃先端技術研究センターでは、熊本大学の衝撃・極限環境研究センターと協力して同試験対策用の集中講義を実施し、工学部生が多数合格した。合格者は機械工学科から2年次生1名と3年次生1名、ナノサイエンス学科から2年次生6名と3年次生9名、大学院の修士課程では機械工学専攻1年次生2名と応用化学専攻1年次生1名。例年、全国平均20～30％程の合格率と言われるなか、今年の本学受験者30名中20名が合格し、合格率は67％と非常に高い数字になった。

PhotoScrap*

宇宙航空システム工学科



夏休み期間中
パイロットコース2期生が
初のソロフライトに成功

9.25

第4回
オープンキャンパス



10.9,10

みずあかり



10.15

大運動会



10.17

テクノファンタジー



10.27,28

E E研セミナー



11.20,21

井芹祭



12.4

田原駅伝



THE HISTORY OF A PROFESSOR

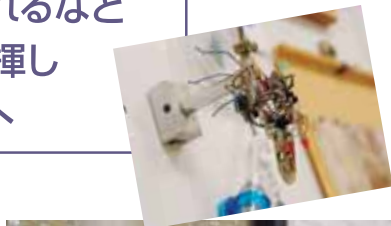
教授に歴史あり……シリーズ⑬

中学生の頃から親元をはなれるなど 独立独歩の精神を大いに発揮し 病態モデル開発の第一人者へ

●とはいえ勉強もしており（当然ですが）、新しい学生実習を体験するたびに興味の対象が変わり目移りしましたが、結局3年次の実習で現専門分野の薬理学に決めました。薬理学というのは薬の効き目の仕組みを探索する学問です。そのためには身体の仕組みや病気の仕組みについても学びます。薬剤師にとって重要な分野のひとつです。



●左端が大学生だった頃の徳富教授



●徳富研究室にはたくさんの緑が

学生 諸君へ 仮眠とウォーキングで 不安と後悔を制御し 学業や就活を成功させよう

●「不安と後悔（自責の念）を制御することができれば特別な修行をしなくても人は輝いていられる」というのは、仏教の原始經典にある釈迦の言葉ですが、これはまさに「うつ」の気分に対する脳科学的なとらえ方に似ています。



現在 創薬等の基盤となる 低コスト病態モデルを作成

●薬の効果を調べるためには「病気」をつくる必要があります。それを病態モデルといい、薬の開発で最も予算が必要な工程のひとつです。私の主要なテーマでは、低コストの病態モデルをめざし、培養細胞に対して、てんかん様放電や不整脈などの病態電気信号を供給する装置の開発を行っています。一昨年、装置の特許を取得し、現在は外部の研究機関によってガン性疼痛モデルの作製に利用されています。私自身は、同装置を培養モデル心臓の不整脈ペースメーカーとして用いています。

●趣味は脳の健康診断を兼ねたギター独奏。細々と続けています。



●徳富教授が特許をもつ装置による培養モデル心臓の不整脈ペースメーカー（試作品）

●不安（危険に近づかない）と後悔（失敗について学習する）は、進化の過程で生物が獲得した生存のための脳の危機管理の仕組みで、主としてノルアドレナリン神経の活動によって営まれています。

●不安や後悔で「うつ」の気分になったときには、休み時間に15分間の仮眠をとってみてください。神経の活動が鈍化し、気分が晴れているのに気がつきます。

●さらに余裕があれば、20から30分間の速歩ウォーキングを勧めます。セロトニン神経が働いてノルアドレナリン神経の働きを制御し、生きる力が湧いてきます。実は、ノルアドレナリン神経とセロトニン神経は、抗うつ薬の作用点なのです。気分を整え、目標に向かって邁進できたら楽しい学生生活が送れ、学業も就活も「すべて」がうまくいきそうです。

薬学部 薬学科

徳富 直史 教授（医学博士）

プロフィール●1958年、熊本県水俣市生まれ（牡羊座）。熊本県・真和高校から熊本大学薬学部、同大学院薬学研究科（修士）から九州大学大学院医学研究科（博士）に進み修了。ミュンヘン（ドイツ）マックスプランク精神医学研究所研究員、東北大学医学部助手、熊本大学医学部助教授を経て本学に。専門分野は薬理学とバイオエレクトロニクス。

高校時代 同世代の仲間たちと 良い社会勉強を

●中学生の頃から寮生活をしており、親元をはなれた開放感と同世代の仲間たちと時間・空間を共有するという良い社会勉強の機会を得ることができました。



●久住山系・坊がツル草原にて

大学時代 3年次の実習で 薬理学を専門選択

●熊本大学ではクラシックギターアンサンブルに所属していました。定期演奏会のステージでドキドキしたのをよく憶えています。そのクラブは梅雨入りコンパ、梅雨明けコンパ、定期試験突入コンパ、等々やたら飲み会の多いクラブ（笑）。学生時代の楽しい思い出ひとつです。

SOJO

ALUMNI 活躍する卒業生

卒業生直撃
interview

整備士への訓練計画・資格管理など 訓練に関する業務全般を担当

スカイネットアジア航空株式会社 整備管理部

●岡元 政隆さん

2008年3月 工学部 宇宙航空システム工学科（現・総合課程スカイエンジニアコース）卒業／鹿児島県 樟南高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●九州を拠点に東京・沖縄へ就航しているスカイネットアジア航空株式会社の整備管理部で整備士への訓練計画・資格管理などの訓練に関する業務全般を行っています。また整備士試験では航空局とのスケジュール調整や試験の立会いなどの業務も行なっています。整備士試験は海外で実施したりすることもあり、海外出張もあります。現在は来年度、新しく導入する航空機の整備士養成準備で航空局との調整業務などもしています。

学生時代の思い出を教えてください

●海外研修旅行やサークルなど多くの思い出がありますが、最も強く残っているのは鳥人間コンテストに出場するため琵琶湖に行ったこと。数秒で落ちてしまいましたが、学科一丸となって取り組んだことが今でも大切な思い出です。その他、毎月のように同級生や後輩の誕生日会を皆でしていたことも楽しい思い出です。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●崇城大学には航空業界で活躍されてきた先生方が多数おられ、実際に経験された話を伺ったことが現在、とても参考となっています。また会社では実際に航空機の整備を行っていた時期もあり、大学時代に学んだ力学的な基礎が大いに役立ちました。



崇城大に学ぶ後輩たちへアドバイスやメッセージをお願いします

●大学時代の4年間というのはあっという間に過ぎます。その時々で充実した生活を送って後悔することがないように過ごしてください。働きはじめると学生のようなゆっくりとした時間は得られません。さまざまな経験をしたり、今しかできないことに数多く取り組むことはとても大切です。

将来の夢を教えてください

●今は子どもの頃からの夢がなくなったばかりなので、今後のことは想像できませんが、少しでも多くの経験を積み、航空機の安全をいつまでも維持できるよう、会社に貢献していきたいと思います。

卒業生直撃
interview

大学で感銘を受けた“ものづくり”哲学を ICのテスト技術に活かして

日本テキサスインスツルメンツ株式会社 日出工場

●大森 和史さん

2004年3月 工学部 電気工学科（現・情報学部 情報学科）卒業／大分県 宇佐高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●日本テキサスインスツルメンツの日出工場で製品技術テスト工程の新製品導入と量産品の歩留まり改善しています。半導体のテスト工程は主にATE（半導体自動テスト装置）を駆使し、製品仕様に応じた1000個近い電気試験を行っています。主に担当しているのは電源IC製品。このIC内部に入っているスイッチングコンバーターという技術は、崇城大学エネルギーエレクトロニクス研究所名誉所長の原田先生が確立された技術であり、多くの製品の基礎になっています。大学時代、直接の関わりはありませんでしたが、意外な縁に驚いています。

学生時代の思い出を教えてください

●地域の人と蜚コンサート等のイベントをしたりし、多くの人と出会えたことです。また学園祭で発光ダイオードのイルミネーションをしようと考え、学科の皆で協力して製作したことも良い思い出です。今あらためて思えば、ひとつのことを皆でやり遂げるということに喜びを感じていました。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●青木先生と宗像先生から“ものづくり”の哲学を教えてくださいました。その「一流になれ」という考え方は今でも自分の心中に響いていますが、まだまだ辿り着いていません。いつ達成できるかわかりませんが、その考え方を常に頭において仕事に従事しています。



崇城大に学ぶ後輩たちへ

アドバイスやメッセージをお願いします

●後輩である情報学部の方にメッセージがあります。崇城大学にはエネルギーエレクトロニクス研究、太陽光発電、リニアモーターカー、メデイカル等、これからの世の中を代表する技術が詰まっています。特に今後はエネルギー産業が多くの可能性と成長を秘めています。これらの素晴らしい財産を多く活用してください。近頃、ソフトウェア指向が強まっているようですが、忘れないで欲しいことは、最終的にはハードウェアがすべてに影響するということ。仕事ではテスト改善のためにプログラミング言語を使用しますが、最終的にはハードウェアから出される電気信号を実際に確認して判断しています。それを理解するために必要なものは、電気回路等の基礎知識です。どれほどプログラミングで効率的な構文を作成しても、それに付随するハードウェアの設計を正しく行わないとテストを行うことができません。ソフトウェアとはモノを動かして初めて生きるものだと思います。大学での勉強を通じて、ソフトとハードの幅広い知識を見につけることがとても大切なことだと思います。

将来の夢を教えてください

●「半導体業界世界シェアNo1」に向けて貢献できる一流の製品技術者になることです。

INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

工学部・建築学科の東康二准教授が トルコ・イスタンブールでの 国際溶接学会専門委員会で講演

●7月11日から14日まで、イスタンブールで行われた国際溶接学会の専門委員会に「建築小委員会」委員長として工学部・建築学科の東康二准教授が出席した。「日本とアメリカにおける溶接構造物の接合部詳細の設計と考え方の違い」について講演を行った。委員会では、将来的に溶接接合部の設計（耐震設計）に関する世界基準を策定することを目的としている。現在は各国・各地域の基準（Eurocode, AISC Code, 日本建築学会の指針）の相違点・問題点の洗い出しを行い、様々な観点から検討を行っている。



情報学部・情報学科の西村強教授が ベトナム国立 Xay Dung 大学で特別講義

●9月10日、情報学部・情報学科の西村強教授が学術および教育交流協定を締結したベトナム国立 Xay Dung 大学で特別講義を行った。これまでベトナムの経済急成長に伴う交通騒音問題を取り上げ、双方大学の共同研究を行っているが、教育方面の交流は今回が初の試み。受講者は若手の教員および音響分野の4年次生。皆が熱心に聴講し、西村教授が開発した防音窓に関心が集まり、活発な質疑応答が行われた。



芸術学部の学生13名が イタリアとフランスで研修

●9月7日から16日までの10日間、芸術学部の学生13名が海外研修に参加した。最初はローマに入り、バチカン、システリーナ礼拝堂等を見学。その後アッシジのサンフランチェスコ大聖堂、フィレンツェのウフィツィ美術館、ミラノのサンタマリアデル・グラツィエ教会で「最後の晩餐」等を見学してパリへ移動。パリでは各自、自由行動でルーブルやオルセー、ポンピドゥー等を見学して帰国した。パリに着いた瞬間、感動して泣き出す学生、本物の絵画に感動して動けなくなる学生、風景や建物に感動してスケッチを始める学生、いろいろあったが学生の今後に役立つことだろう。



工学部・宇宙航空システム工学科の学生30名が カナダの航空産業を視察研修

●9月7日から14日の8日間、工学部・宇宙航空システム工学科の学生30名が、引率教員3名と共にカナダ航空産業の視察研修を行った。カナダはアメリカやヨーロッパと並び航空産業が隆盛であり、今回の研修ではBELL Canada社、Bombardier社、CAE社の3企業を見学した。BELL CanadaとBombardierではヘリコプタや航空機の製造工程を見学し、CAEではフライトシミュレータの製造工程見学と体験操縦を行った。操縦した機体は2011年に就航が予定されているボーイングの最新鋭機「Boeing B-787 Dreamliner」。シミュレータとはいえ、就航前の最新鋭機の操縦桿を握ることができた学生たちは大喜びだった。また、当初は入国審査での英語の質問の意味が判らず、四苦八苦していた学生たちも、見学中に1人1問の英語での質問を義務付けられ、徐々にコツをつかんだよう。見学が終わる頃には積極的に質問をする学生もあらわれ、「英語は度胸」ということを体得したようであった。見学の合間にはモントリオールやトロントの市内観光を行い、ナイアガラの水も訪れた。



オレゴン州立大学（米国）と 四川大学錦江学院（中国）と大学間協定締結

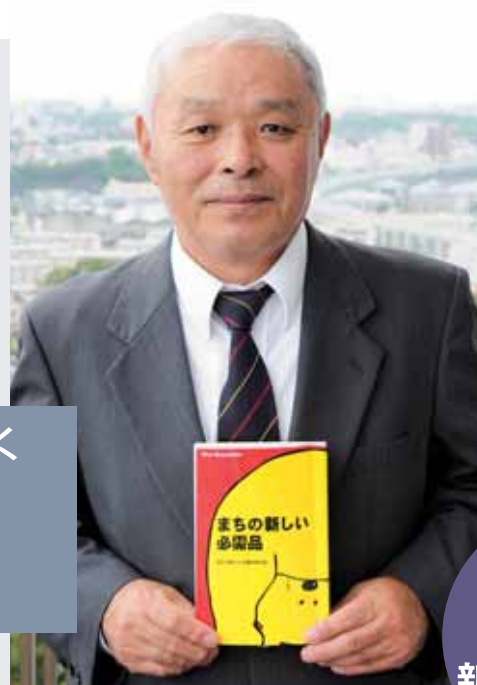
●8月23日、オレゴン州立大学（米国・オレゴン州コヴァリス市）と本学との交流協定締結式が行われた。両大学の薬学部を中心に教育研究、学術研究における交流を目的としたもので、今後は大学全体での学生の交換留学、教員の交流、研究活動における協力を促進していく。また9月9日には四川大学錦江学院（中国・四川省）において大学間協定の調印式が行われた。四川大学錦江学院を卒業した学生の本学大学院へ受け入れや両大学の学部生の交換留学を協定の目的としている。今後、学術研究の協力、教職員の交流などあらゆる面での協力ができることだろう。



この本の内容は25名の共著により構成されており、各分野の人が自分の体験や仕事内容を紹介し、その後にアドバイスのことを書いています。その一例を示すと〜日本にないものをつくる／水は人を呼ぶ／人が人を集める／「食」の一番は安くておいしい／「人づくり」でまちをつくる／人工的に創るむずかしさ／自然・環境・世代がま

今後の社会を背負っていく
学生たちにとって
とても参考になる本です

●工学部 エコデザイン学科／林健一 講師



ちを決定づける／日本を変えたい／時代によって必需品は変わる〜といった内容です。この他にも11項目ほどの内容がありますが、その中で私が最も共感したのは“「人づくり」でまちをつくる”という項目の中に「つくる技術から育てる技術へ」というところでした。総合的にこの本には「まちづくり」と「人づくり」に関する提言が記されていて、崇城大学の教育理念に通じるものがあると感じる内容です。今後大変な社会を背負っていく若い人たちに、とても参考になる本であると思います。

まちの新しい必需品
研究会 著
まちの
新しい必需品
史輝出版

This is my 心響の favorite book
Series@11
紹介書籍は図書館にもあります!!

ノーベル賞を受賞することのインパクトの大きさは格段である。それはマスメディアの騒ぎようからもうかがえる。しかしここに紹介する本は、ノーベル賞受賞をたんに賞賛するものではない。サブタイトルにもあるように、受賞者と彼らを取り巻く科学者の人間模様〜夢と挑戦・熾烈な研究競争・確執・名声欲・勝利と敗北〜の実際をレポートするものである。各章にはインシュリン、ビタミンC、DNA二重らせん構造、プリオン、エイズウイルスのタイトルが並び、その発見前後のエピソードが綴られている。ことの善し悪しは別に、彼らのエネルギーとタフさにはただ驚嘆させられる。秀逸は最後の章、「ストックホルムへの道」である。1970年末に日本人科学

丸山工作 編
ノーベル賞ゲーム
科学的発見の神話と実話
岩波書店



者がアメリカに渡り、後にノーベル賞を受賞するボスのもと、16万頭ものブタの視床下部から精製された極微量のペプチドホルモンの構造を決定するまでの奮闘記である。エピローグに記された著者のノーベル賞に対する感慨には、読む者の心を動かすものがある。この本は第1刷発行が1989年

ノーベル賞の受賞者と
彼らを取り巻く科学者の
人間模様をレポートした一冊

●生物生命学部 応用微生物工学科／安藤祥司 教授

であるが、今なお様々な思いを呼び起こしてくれる一冊である。

LOCAL AREA COOPERATION

地域との連携

阿蘇・高森町で「Genesis-1 起源展」を開催

芸術学部デザイン学科三枝ゼミの呼びかけにより、阿蘇・高森町の「阿蘇フォークスクール」に於いて「Genesis-1 起源展」が9月19日から30日まで開催された。この展覧会は、ハロ・シュミット氏（ドイツ・ハノーバー）と三枝泰之教授の親交から生まれた企画であり、現代の自動装置化した人工的な社会環境に対し、少しでも自然の大きな力に気づいて欲しいとの共通する想いから、阿蘇火山という世界最大級のカルデラをシンボルにしたアート展になった。根子岳の麓の会場に本学の芸術学部生の彫刻作品（美術学科）やインスタレーション（デザイン学科）をはじめ主旨に賛同する作家の作品が展示された。パネル・ディスカッションでは火山博物館の館長など地質学や農業の専門家など、幅広いジャンルのパネリストによる活発な意見が交わされた。地元フォークスクールでは共にアートの森などに展開していきたいと夢は尽きない。



●奥には阿蘇山が

●一番右が三枝教授

崇城大学「専門学校」からのお知らせ

SOJO COLLEGE INFORMATION

3月22日 [火] まで
入学願書受付中

<2011年度 入試日程>

試験区分	試験科目	願書受付締切日	試験日	合格発表日
特待生試験	学科・面接	2月17日 [木]	2月19日 [土]	3月 1日 [火]
		3月 9日 [水]	3月11日 [金]	3月22日 [火]
一般推薦試験*	面接	1月27日 [木]	1月29日 [土]	2月 8日 [火]
		2月17日 [木]	2月19日 [土]	3月 1日 [火]
		3月 9日 [水]	3月11日 [金]	3月22日 [火]
		3月22日 [火]	3月23日 [水]	3月25日 [金]
一般入学試験	面接	1月27日 [木]	1月29日 [土]	2月 8日 [火]
		2月17日 [木]	2月19日 [土]	3月 1日 [火]
		3月 9日 [水]	3月11日 [金]	3月22日 [火]
		3月22日 [火]	3月23日 [水]	3月25日 [金]

*一般推薦試験については、オープンキャンパス参加者の面接を免除します。

※願書受付は9時から16時まで（土曜・日曜・祝日を除く）

3月までオープンキャンパス実施中。詳細はホームページで!!

崇城大学 専門学校

〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122
URL: <http://www.sojo-c.ac.jp/> E-mail: info@sojo-c.ac.jp

